

生活協同組合あいコープみやぎ 復興版

あいあいあい

2011年11月28日号


生活協同組合
coop かいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ選考委員会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町3丁目4番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.miyagi.coop

生産復興 地域再生 キャンペーン

「こんにちは料理酒」

福島は今、これから見て下さい、必ず豊かな環境と食を取り戻します!



福島県西白河郡矢吹町にある大木代吉本店は3・11大震災で大きな被害を受けましたが、希望を棄てず、蔵の復旧、残った商品の出荷に取り組みました。「こんにちは料理酒」は一般の料理酒の約5倍の天然アミノ酸を含み、少量の使用で素材の味をより美味しく引き出します。一度使えば、手放せなくなる究極の料理酒です。今年仕込む2011年産米の料理酒は1Bq/kg以下の原料米を使用します。出荷は2012年5月ごろからです。

↑12月3日 回まなま通信表紙掲載



大地震大津波、さらに原発事故を受けた今だからこそ、 しっかりした3カ年ビジョンを!

生協あいコープみやぎ 理事長 吉武 洋子

3.11以来日本は変わりました。変わらないで欲しい人、変えたくない人もまだ大勢いますが、3.11は否応なく日本を変えてしまいました。大地震大津波という自然の猛威に加え、大人災である東京電力福島第一原発事故により、日本社会は安全安心から遠いものとなりました。福島第一原発事故は、事故当初からメルトダウンやプルトニウム放出など重大な汚染情報が隠され、放射能汚染被害はスリーマイルをはるかに超え、チェルノブイリに迫る汚染状況でありながら、政府財界マスメディアが一体となった情報操作に、国民が騙され、過小評価しているのが実情です。また大地震大津波による被災地復興計画は、これを利用しての漁業農業再編の試みであり、被災者に寄り添った復興では全くなく、地域再生地域復興とかけ離れたものとなっています。

今、日本に必要なのは、どんな日本社会どんな地域社会にしていけるのか、困難な状況に有っても、私たち国民が夢と希望を持てる明確な指針であるビジョンです。そして同じことは、あいコープにも言えます。

生活協同組合あいコープみやぎ、私達にとっても、3.11は生協としての真価を問われる試金石となりました。

多くの組合員生産者が被災し、家族や生活の基盤や生産手段を失った方も多くあり、生協として事業の存続すら危ぶまれる状況でした。そして何より福島原発事故による放射能汚染が、食の自給と安

全安心を推進してきた、あいコープの地産地消を直撃しました。広範囲に放射能汚染された東北の生協として、組合員と生産者の暮らしを守り、食の自給と安全安心を実現して行くために、何ができ何をしなければならないのか、安全を求める組合員と、汚染された土壌で生産せざるを得ない生産者との間で、苦悩する日々でした。

しかもこんな状況をもたらした東京電力や政治家、官僚たちが何の責任も問われず、東京電力に至っては、原子力損害賠償法に守られ、殆ど税金で損害賠償させるなど言語道断で腸が煮えくりかえります。何処まで私達を馬鹿にするのでしょうか。無論この期に及んでも原発が必要などという、馬鹿にされる側の責任も大きくありますが。

本当に多くの組合員生産者他生協の方々に助けられ支えられて、事業は何とか軌道に乗りましたが、放射能汚染との戦いは今後何年、何十年も続きます。こういう困難な状況にあって、私達は生協組合員として、将来どんなあいコープとしたいのか、生協としてどんな地域貢献し、どんな地域社会を実現したいのか、もう一度確認して行きたいと考えました。それが今回の3カ年ビジョン創りです。今だからこそ組合員職員生産者が協同し、一緒になって、あいコープみやぎの「ありたい姿」を考え、将来への夢を見、希望を持って進みましょう。あいコープみやぎ3カ年ビジョンをご一緒に!

あいコープカレンダー
11月18日現在

12/12(日) 津波被災地の
土壌調査報告会

Tウオッチ(NPO法人有害化学物質削減ネットワーク)が、津波被災地の土壌汚染状況の調査を12/12報告会です。

時間: 10:00~12:00
場所: 生協あいコープみやぎ日の出町センター2F 2F 会議室
報告者: 中地 皇晴さん(トウワッチ理事長、熊本県立大学教授)

申し込みお問い合わせ先 (P49頁)
TEL 0(20)-255-044 FAX 0(20)-844-324

社会福祉法人みんなの輪

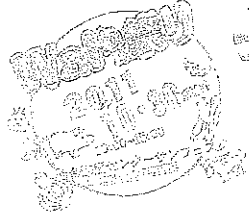
第7回 新春ありがとうコンサート

～大正時代に思いを込めて～
元劇団四季 中條郁郎さんら6人が出演

日時: 2012年1月9日(祝月)
会場: 若林臣文化センター
開場/13:00 開演/13:30
主催: 社会福祉法人みんなの輪後援会
共催: 生協 あいコープみやぎ
社会福祉法人みんなの輪

申し込みお問い合わせ先
TEL 022-388-4188 みんなの輪 後援会事務局

特集 Wa!わお祭り報告VOL.2



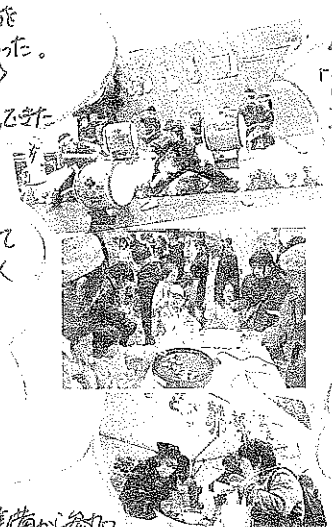
組合員と生産者と職員が協同に創るお祭り.Wa!わお祭り
人と人の輪、人と自然との絆。その2つの「Wa・わ」...
大震災を経験した組合員と生産者と職員の輪と絆が、会場の
いたる所で見ることができました。今号は当日皆さんに書いて
いただいたアンケートの中からご紹介いたします。

思った以上に組合員の方に弊社の商品が
買っていたという事がわかり、大変嬉しかった。
<生産者>

東北を中心に、様々な産地のの人々と交流する
事が大変良い経験となりました。<生産者>

巨摩や大河原から来た組合員さんを見て
あの頃かよと思った。震災の年争が止れた人
が来たのかもしれない。<職員>

毎年楽しみにしている組合員のあいこ-7への
信頼やあいこ-7に寄せる生産者の思いを
感じる事ができた。<職員>



生産者の方とお話ができて楽しかった。

「あいこ-7はおいしいね!」って
子供が再確認していたのが嬉しかった。
<組合員>

おじいさんがなんでもいてびっくり。
(おじいさんのコメント)
おいしい食べ物がいっぱいあった。
<組合員おじいさん>

なんとでも高橋総治商店の高橋
社長に逢えたこと! ウルフル隊が
「おどろき揚げ」行っていました!
<組合員>

久々の趙工のキムチがうれしかったです。
寒波で焼いてもらった干す「ミカ」が本当においしかった。
ぜひ復興にしたいです。<地区役員>

開上太鼓、とてもよかったです。<組合員>

今年で2回目の開催です。今年はお祭り準備が余裕
できたので、生産者さんと一体お祭り準備の温か
さが伝わってきました。来年も楽しみます。
<地区役員>

震災後の食の安全について知りたい
と思っているかと交流しました。自分たちで作ったリ
ンゴの資料に興味を持っていただけて、
役に立てたようでよかったです。<地区役員・販売係>

米粉アイス 大好評!!



名取岩沼巨摩地区委員会では、Wa!わお祭り
イベントのおわりのブースの企画を行いました。
わいわい味明では「大郷の米粉」を販売し、
あいこ-7産直米大郷みどり会の米粉で何か
提案できないか? 地区委員会と話し合い、
この米粉アイスをお祭りに出して頂きたい。
わいわいの毎週ムをいれたい! 紅茶やココア味も
オススメです。

名取岩沼巨摩地区委員
大竹喜美子

米粉アイスレシピ

材料: 米粉 40g
糖 60g
生クリーム 360cc
生クリーム 200cc

- ①をボウルの中でよく混ぜる。
- 火にかける。米粉からこぼれ出し、
よく混ぜながら、70℃くらい煮る。
- 火から下ろす。とろみが出る
まで煮る。
- 冷ましてから、8分立ての生クリーム
を混ぜる。
- お好みで、シロップや果実、冷菓
を入れる。

今年のWa!わお祭りで、行なった 募金活動・チャリティオークション・福袋
協賛品の販売・パスタちゃんオリジナル袋の販売の収益金を 自然エネルギー基金
へ 納金いたしました。ご協力ありがとうございました。収益金額 491,113 円

生産者つうしん!!

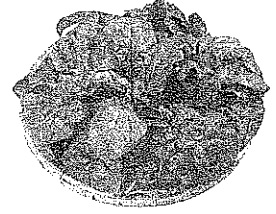
大震災後、あいこ-7みやぎの生産者のみなさんは、どんな被害があり、どんなご苦労が
あったのでしょうか? 組合員のみなさんは、生産者のみなさんのこれからの復興復旧に向けて
音の声を合わせて、買い支えていきましょう。

復活のちぢみホウレン草ができました!

若林七郷みつば会

3月の東日本大震災により、被害に遭われた方々に代からお見舞い申し上げます。私も今回の
震災で、甚大な津波の被害を受けました。150アールの畑が、瓦礫とヘドロで覆いつくされま
した。また10アールのパイプハウスもつぶされました。春と夏の野菜は作付けできません
でした。その間、畑の復旧に努めました。ようやく冬野菜のホウレン草とちぢみホウレン草を
作付けすることができました。ホウレン草が育つということは、どの種類の野菜でも育つとい
うことです。とても安心しました。私にとって忘れることのない記念のちぢみホウレン草となりま
した。あいこ-7みやぎ、そして組合員の皆様には、温かいお言葉、支援物資、義援
金等々いただき、このご恩は忘れません。安心安全な野菜を作ることで、皆さんの厚情
にお返ししたいと思っています。

七郷みつば会 小島 倬夫



ちぢみホウレン草



小島倬夫さん

ツヨクアケアイト 石巻支援活動報告



11月9日(水)、ツヨクアは遅れはせながら、石巻への支援
活動を行いました。お掃除隊、読書、アクリルタペ作り...
本陣会館を拠点に各町おこなった活動でした。泥をかぶった
さまの思い出の品々の片づけ。仮設在住の読書のお子さんへ、
広いホールを駆け回り、とても楽しそうでした。アクリルタペ
を編みながら、少しづつあの日の事、その後の事を言葉にし
スしづりの集いに話が尽きませんでした。そして、
まんお通信料理提案グループ「ごっつあんです」の方たちが作
ったランチをいただき終了しました。ツヨクアは、これから
もこのような企画を続けていきたいと思っています。

ツヨクア事務局 菊地 久子

生協あいこ-7みやぎは、バガレタカッポバリアフリーサッカー教室2011を応援しています。
12/11(日) バリアフリーサッカーバガレタカッポ開催!! (利府 グランド121)